

令和元年八月

神 示

今^{今日} この世に^{社会} 神示教会がある意味を教えよう

運命実体が 重なり 補い合って 時代が回る

この世の仕組みは変えられない

この真実「真理」が悟れた者は^{人間} 人としてあるべき心の姿を求める

なれど 人間の体験と気付きでは 「人生の真理」は悟れない

神は 使者をもつて

人類に「真理」を教え 運命に重なる人生を歩む人^{人々}を育てる

神の手の中 運命が重なり 支え合う環境に

社会は調和し 発展する

時代の流れ 変化を感じて生きる

自然の力^{運命}がいかに絶大なものか 気付けた人^{人間}は 必ず神を求める

「教え」を学び 人生の真実「真理」が見えて

知恵ある人生を歩みだす

「希望の光」^{みち}の真実「真理」を悟り 「人生」に生かす信者を目指せよ

この努力が 信者の心^{実体}を高め 一人一人の存在価値を引き出す

神示のある教会の価値を知って 「真理」に生きる人^{人間}を目指す時^{時代}

感謝心^{かんしゃこころ}に生きるほど 人間は 実体を高め 輝いてゆく